

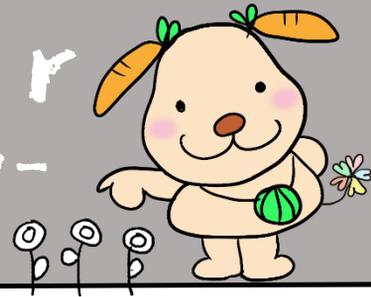


News Letter

とみさと市民活動サポートセンター

平成28年9月15日発行

Vol.2



とみさと市民活動サポートセンターキャラクター 「とみポくん」に決定！

サポートセンターに少しでも愛着を持ってもらえるようなキャラクターが生まれました。平成28年3月オープンとともに、キャラクター名の公募を開始し、69名の方からご応募いただきました。その中から厳正な審査ののち、この名前に決まりました！小さなお子様からおじいちゃん、おばあちゃんまで、幅広い世代の方からのご応募、ありがとうございました！
これからも、「とみポくん」をよろしく願います♪



富里の未来が一步一步進んでいくように、富里の「とみ」と「ポ=歩」、そしてサポートの「ポ」も名付けた理由になっています♪

☆ とみポくんの名付け親 ☆ 眞壁 里帆さん(日吉台在住)

市民活動団体とのコラボ

「夏休み!小学生ボランティア体験」開催

小学校4・5・6年生を対象に福祉施設や市民活動団体の日ごろの取り組みを体験することを通して、「まちづくり」に興味をもつきっかけとなればと始まった市の事業で、今年で4回目になりました。今回は全4コース。



図書館で本の貸出について学ぶ

2日間に分け、高齢者・障がい者疑似体験から文化財の保全活動、EMせっけん作り、高齢者施設で交流、図書館で配架作業など、日ごろ体験できないことを真剣に、楽しく学んでいました。「お年寄りを助ける仕事したい」と積極的に体験にのぞむ姿が印象的でした。当日初めて会った小学生たちも、すぐに打ち解け新しい友達もできたようです。自分たちが暮らす「まち」を支えている市民活動。子どもたちの心にはどのように残ったのでしょうか。

第5回「とみさと市民活動フェスタ」

平成29年2月18日(土)に開催

今年で5回目を迎える「とみさと市民活動フェスタ」。約40の市民活動団体が参加予定です。毎月1回実施している企画運営会議は、参加する団体メンバーの有志で構成され、「見て！聞いて！体験して！交流できる！」子どもから大人まで楽しめるイベントを創り上げようと話し合いを進めています。フェスタでは各団体の活動内容の展示ブース(見る)をはじめ、発表(聞く)や工作・遊びの体験ができるコーナー(体験する)もあります。これからボランティアをしてみたいけど、きっかけが見つからない。一緒に活動するメンバーを募りたいなど、人と人・団体と団体・人と団体の出会いと交流の場でもある「とみさと市民活動フェスタ」。是非、ご家族やご近所の皆さんと一緒にご来場ください。



平成28年度2月13日フェスタの様子

わたしたち、こんな市民活動をしています！

～夏休み!小学生ボランティア体験にご協力いただいた団体～

オラキノ・マイカイ 活動分野：まちづくり、健康福祉、子どもの健全育成 みちこフラスジヲ 高齢者の健康促進、認知症予防「ロコモティブ症候群」対策 子ども達の情操教育について尽力されています。

「市内の小学生達のボランティア精神がとってもうれしいです。」と語る代表の長谷川みち子さん。発足して約2年半。「継続は力なり！皆さんと連携を取りながら、富里のすばらしさを伝えていきたい！」と、年間約15回のステージに立ち、活動を知る人も多くなりました。団体名の「オラキノマイカイ」はハワイ語で「元気に健康で長生き」の意味です。

オリジナルで作成した「lovely富里フラソング」を振り付けしている長谷川さんは「一人でも多くの市民の皆さんと富里愛に浸りながら一緒に、いろんなシーンで気楽に富フラを踊りたい！」と語り、富里市内のいたるところでこのフラソングが流れて欲しいと願っていらっしゃいます。

連絡先：080-1057-8147（代表：長谷川みち子さん）



富里ふるさと祭りにて

すえひろくらぶ 末廣倶楽部 活動分野：環境保全

皆さんは富里市に素敵な文化財があることを知っていますか？「旧岩崎家末廣別邸(きゅういわさきけすえひろべってい)」は1949年6月～1955年12月まで、三菱財閥3代目社長、岩崎久彌(ひさや)氏が別荘として利用していた場所です。末廣倶楽部は平成25年から敷地内の整備、清掃、珍しい植物の保全活動を続けてきたボランティアの方々によって今年の3月に設立され、毎週月曜日と木曜日の午前中に活動しています。一般公開を目指し、竹林や木々の整備・伐採を始め、畑を耕作するなど新しいことにも挑戦をしています。

現在、会員が35名ですが一般公開までの計画を考えるとまだまだ作業活動をしてくれる方が必要です。

代表の村塚さんはこう呼びかけます。

「富里市、唯一の国登録有形文化財を維持・保存し、後世に伝えるために一緒にボランティア活動をしませんか？四季折々に変化する別邸庭園には毎回驚かされたり癒されたりもしますよ。」文化財や自然に興味がある方、一緒に活動体験をしてみませんか？

連絡先：090-1986-5958（代表：村塚 新一さん）



活動の様子

EMの会 活動分野：環境保全・環境教育 「やさしいEM教室」・「廃食油によるEMせっけん作り」 「EMボカシづくり」などを開催しています。

～EMとはEffective(有用な) Microorganisms(微生物たち)の略～

夏休み小学生ボランティア体験では、捨てればゴミになる廃食油を使ったEMせっけん作りをし、出来あがった固形せっけんを持ち帰りました。家庭で環境を守ることの大切さを考えるよい機会になりました。

EMの会では年に4回北部コミュニティセンターでEM教室を開催するほか、年間20回以上EMボカシづくりを実施するなどの活動をしています。

代表の齊藤さんは「EMは環境の原点。環境を語るにはなくてはならないもの、これからもゴミの減量や環境美化活動として勉強会を行い、若い世代にも興味をもってもらい、後継者を育てていきたい。」と語っています。

連絡先：0476-93-8317（代表：齊藤 栄子さん）



EMせっけん作り

メカラウロコセミナーの報告と予告。

サポートセンターでは日々まちづくりに取り組んでいる団体や個人の方に目からウロコが落ちるようなセミナーを企画・実施しています。今回は、広報に使えるちらしづくり、申請書の作成に役に立つ文章の書き方講座など、身近にある困りごとをテーマにしました。

～第2回～いちばん、とっても 知らせたいことが伝わるちらしづくり

8/22 (月) 講師：牧野 昌子さん
(NPOクラブ代表理事)

今回は台風の中でのセミナーでしたが、個人の方も参加され、充実したものとなりました。後半では参加者が持ち寄ったチラシを「イイね」「オシイね」に分け、どこがどう良くて、惜しいのか発表するワークも行いました。

■講座の内容を抜粋■

チラシとは、自分たちの活動やセミナーの情報を、来て欲しい人・伝えたい人たちに向けて発信する手段のひとつです。タイトルや内容も大切ですが、現場の声を掲載することで読み手に「なるほど」という共感が生まれ「やってみようかな」という気持ちにもつながっていきます。

★上手なチラシづくりのためのポイント★

- ①伝えたい人、ターゲットの心に響く言葉を使う
- ②フォント（文字の種類）は3つまで
- ③チラシの上3分の1をどう見せるか、で決まる
- ④伝えたい人がいる場所へチラシを置こう

ターゲットを絞らずに「誰でも良いです!」と書いても、誰も来てくれません。私に言われていることじゃないし…と他人事になってしまいます。チラシを読んで「私も行きたい!」と思ってもらえるように、日時、場所、募集人数を明確にすることが大切です。

強調したい見出しはゴシック、内容は明朝体など、フォントを変えてみるのも一つの手法です。ただし、あまり使い過ぎると読みづらくなることも。フォントの種類は3種類くらいがちょうど良いかもしれません。また、チラシは基本的にパンフレットスタンドに入っていることが多いので、手にとってもらうためには上部に目を引くタイトルが入っていると良いですね。

最後に、良い物はどんどん「マネ」をしていきましょう!

参加者の感想

- チラシを作る際の工夫などが分かった。
- 具体的でよかった。
- 意見の交換があつて楽しかった。
- NPOの活動について興味を持ったので機会があれば参加したい。

様々なチラシを見てコメントを聞いて参考になった。

ワークショップ楽しかったです。自分もチラシを持ってくればよかったです。



～第3回～伝える! 伝わる! 文章の書き方・まとめ講座

9/10 (土) 講師：成川 由理さん
(ファイナンシャルプランナー)

当日は高校生や大学生を含め、市内外より16名の参加者が集まり、4ステップでだれでも簡単に文章を書き出せる方法を学びました。小論文や報告書、社内メールなど、自分の気持ちをうまく伝えたい時に役立ちます。

■講座の内容を抜粋■

人とのコミュニケーションで、課題になるのは人前で話すこと。話すことが苦手な方は、まず「紙に書く」という手法を使って自分の気持ちを整理してみましょう。文章を書く上で大事なことは、2つあります。

- 1：文章を書く目的を常に意識する
- 2：意見（主張）と根拠（理由）を明確にする

★簡単に文章を書き出せる4ステップ★

- STEP 1：意見を出す
- STEP 2：意見を支える根拠を出す
- STEP 3：根拠を支える事例を出す
- STEP 4：根拠をグルーピングして一気に文章化。

ポイントは、「考えること」と「書くこと」を作業として別々にすること。普段私たちは無意識にこれらの作業を同時にしています。これを、「意見を出すこと」「根拠を出すこと」それぞれに集中して作業を行うことで文章（言いたいこと）の質を高めることができます。そして数だけでなく、「客観的」な根拠と「主観的」な根拠のどちらも入れることで、より人の共感を呼ぶ説得力があり論理的な文章を書くことができるようになります。文章でトレーニングをすれば、思考の中で組み立てができるようになり、人前でも論理的に簡潔に伝わる話しができるようになるのです。

<講師成川さんからのメッセージ>

自分の気持ちを伝えることは相手を否定したり論破したりするための手段ではありません。違った意見が存在することを認め合い、それを前提としてより良い解決策を見出すものです。

参加者の感想

- とてもわかりやすかった。
- 文章を書く考え方を学べた。
- 実践しやすい内容だった。
- 「コミュニケーション」を論理的に解説してもらえた。
- 丁寧でわかりやすく、高齢者向きでもあった。



★NEXTメカラウロコセミナー★

助成金をもらった団体が事業報告書を書く年度末に備え、第4回目セミナーは「事業報告書ってなんで必要なの?書き方を教えて!」を開催します。
日時：平成29年2月頃予定 (facebookにて広報予定)

お知らせ

ママのための『ちくちくカフェ』

<第1回> 10月21日(金) 開催

可愛いシュシュを手作りしましょう!
※託児あり

時間: 10:00~12:00 (定員10名)

予約制 (申込〆切10月7日)

参加費: 200円 (ワンドリンク付き)

主催: とみさと市民活動サポートセンター
(0476) 93-4123



開所時間のご案内

◎午前9時～午後5時

※金曜日のみ、ご予約いただければ
午後9時まで利用可

休館日

◎毎週水曜日・日曜日・祝日
年末年始(12/29~1/3)・お盆(8/13~15)

<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター
〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1
(富里市役所敷地内 すこやかセンター1階)

- TEL/FAX: 0476-93-4123
- E mail: tomisapo@bz04.plala.or.jp
- Facebook「とみさと市民活動サポートセンター」



編集後記: 今年の夏は台風が多く大変でしたね。様々な災害時を想定していかねばと再認識します。これからは市民活動でも地域との関わりを持つときなのかもしれません。今号では団体の皆さんが地域で活躍するところを掲載しました。今後の参考のために、Vol.2号の感想をお寄せください。

次回は12月予定 (年4回発行)

発行部数: 2500部 配布先: 市内公共施設他

市内イベント

<富里市英語スピーチコンテスト>

*日時: 10月29日(土)

*会場: 富里中央公民館

<富里市福祉まつり>

*日時: 11月3日(木)

*会場: 富里市福祉センター

<富里市文化祭>

*日時: 11月3日(木)~6日(日)

<富里産業まつり・リサイクルフェア>

*日時: 11月20日(日)

*会場: 富里市中央公民館・
富里中央公園イベント広場

◆センター登録団体参加予定!

助成金情報

◆一般財団法人 セブン-イレブン記念財団:

2017年度環境市民活動助成

募集期間: 平成28年11月1日(火)~12月10日(土)

上限額: 活動助成...50万~上限200万円

NPO基盤強化助成...1団体、上限400万円

緑化植花助成...上限40万円

清掃助成...上限20万円

※4部門ありそれぞれ内容が異なります。

詳細: <http://www.7midori.org/index.html>

募集要項pdfファイル⇒



◆中央ろうきん社会貢献基金:

若者応援ファンド-2017-

募集期間: 平成28年10月3日(月)~10月28日(金)

上限額: 1団体あたり50万~200万円

詳細: <http://chuo.rokin.com/about/csr/assistance/>

募集要項pdfファイル⇒



◆公益財団法人 ちばのWA地域づくり基金:

生活クラブ虹の街エッコロ福祉基金

募集期間: 平成28年11月1日(火)~11月15日(火)

上限額: 1団体あたり上限30万円

詳細: http://chibanowafund.org/?page_id=1508

詳細チラシpdfファイル⇒



◆CANPAN運営事務局

日本全国の助成制度を調べることができます。

詳細: <http://fields.canpan.info/grant/>